

管理目標	評価項目	モニタリング項目	評価指標	評価基準	評価(案)	実施主体					評価シート等の作成主体(案)	評価案のとりまとめ主体(案)
						環境省	林野庁	鹿児島県	屋久島町	その他		
0 基礎的環境情報が把握されていること	-	1 気象データの測定	1 気温、湿度、地温、土壌水分、降水量等	-	○	●	●	●		●	環境省	科学委員会
		2 大気組成、水質測定	2 降下ばいじん量	-	○			●				
			3 pH, DO, BOD, COD, SS, 大腸菌群数	-	○			●				
I 天然スギに代表される特異な自然景観が維持されていること	A 天然スギ林が適切に保護・管理され、天然スギが持続的に世代交代すること	3 天然スギ林の現状把握	4 天然スギ林の面積	天然スギ林の面積が大きく減少していないこと	▶		●				林野庁	科学委員会
		4 天然スギ林の動態把握	5 天然スギ林の種組成及び階層構造	天然スギ林の種組成及び階層構造に大きな変化がみられないこと	▶	●	●				林野庁	
	B その他の特異な自然景観資源が適切に保護・管理されていること	5 著名ヤクスギ等の巨樹・巨木の現状把握	6 著名ヤクスギである各個体の枝数、葉量	著名ヤクスギである各個体の枝数、葉量に著しい変化がみられないこと	▶	●	●				林野庁	科学委員会
		6 その他の特異な自然景観資源の現状把握	7 特異な自然景観資源の現況	特異な自然景観資源の規模、形態等に著しい変化がみられないこと	▶	●					環境省	
II 植生の垂直分布に代表される貴重な生態系が維持されていること	C 植生の垂直分布が維持されていること	7 植生の垂直分布の動態把握	8 群集、種組成及び階層構造	群集、種組成及び階層構造に大きな変化がみられないこと	▶	●	●				林野庁	ヤクシカWG
		8 ヤクシカの動態把握及び被害状況把握	9 ヤクシカの個体数	ヤクシカの生息密度が適正に保たれていること	▶	●	●				環境省	ヤクシカWG
	10 ヤクシカの捕獲頭数		捕獲頭数が適正な生息密度維持のために、寄与していること	▶		●	●	●		環境省		
	11 ヤクシカによる植生被害及び回復状況		林床植生に過度な摂食がみられずに、森林生態系の維持及び適切な森林更新が期待されること	▶	●	●			●	林野庁		
	D 生物多様性が維持されていること	9 希少種・固有種の分布状況の把握	12 林床部の希少種・固有種の分布・生育状況	希少種・固有種の生育地・生育個体数が減少していないこと	▶	●					環境省	ヤクシカWG
			13 ヤクタネゴヨウの分布・生育状況	ヤクタネゴヨウの生育地・生育個体数が減少しておらず、稚幼樹の定着に伴う更新が期待されること	▶		●				林野庁	
10 外来種等による生態系への影響把握		14 外来植物アブラギリの分布状況	アブラギリの生育分布域が拡大していないこと	▶		●				林野庁	ヤクシカWG	

屋久島世界遺産地域モニタリング計画に基づくモニタリング項目等

資料6-2

管理目標	評価項目	モニタリング項目		評価指標	評価基準	評価 (案)	実施主体					評価シート等の作成主体 (案)	評価案のとりまとめ主体 (案)	
							環境省	林野庁	鹿児島県	屋久島町	その他			
		11	高層湿原の動態把握	15	湿原の面積	湿原面積が大きく減少していないこと			●				林野庁	高層湿原保全 対策検討会
				16	湿原の水深、土砂堆積深及び落ち葉だまりの分布面積	湿原の水深が維持され、土砂堆積深、落ち葉溜まりの分布面積に著しい変化がみられないこと			●				林野庁	
		12	高層湿原植生の動態把握	17	植生群落分布、種組成	植生群落分布面積及び位置、種組成に変化がみられないこと			●				林野庁	
Ⅲ 観光客等による利用及び人為活動等が世界遺産登録時の価値を損なっていないこと	E 観光客等による利用が適正に管理されていること	13	利用状況の把握	18	屋久島入島者数	—				●			環境省	科学委員会
				19	主要山岳部における登山者数	—		●					環境省	
				20	自然休養林における施設利用者数	—			●			●	環境省	
				21	携帯トイレ利用者数	2014年までに宮之浦岳ルートを利用する登山者（パーティ別）の60%以上、2022年までに90%以上が携帯トイレを所持すること		●					環境省	
				22	レクリエーション利用者の動向	—						●	環境省	
				23	レクリエーション利用や観光業の実態	—		●					環境省	
		14	利用による植生等への影響把握	24	登山道周辺の荒廃状況、植生変化	登山利用に起因する周辺植生が衰退しておらず、荒廃箇所が増加・拡大していないこと		●				環境省	科学委員会	
25	避難小屋トイレ周辺の水質	登山利用に伴い、水質が汚染されていないこと		●					環境省					